

令和5年度鳥取県学校農業クラブ連盟「農業後継者の集い」

7月 27 日(木)～28 日(金)の2日間、鳥取県立農業大学校で令和5年度鳥取県学校農業クラブ連盟「農業後継者の集い」が開催され、本校から2名倉農業高校から1名の生徒が参加しました。この事業は将来農業大学校を進学先に考えている学生を対象に、鳥取県学校農業クラブ連盟主催で開催しています。今年度も鳥取県立農業大学校のオープンキャンパスの日程に合わせ、初日の夕方まではオープンキャンパスの参加者と共に実習体験をし、夕方以降は鳥取県農業クラブ連盟が準備した研修に参加しました。初日の午前中はまず、野菜・花き・作物・果樹・畜産の各部門の見学と、施設内の各教室や寮の見学をさせていただきました。

各部門で話を聞く生徒達



午後からは農業大学校で昼食をとり、各部門で体験実習を行いました。

ジャンボピーマンの収穫



袋詰め作業



トラクターの運転



コンバインの運転



オープンキャンパスが終了した夕方からは、各学校の卒業生である農大生との交流会を行いました。農大の寮生活や学校のこと、農大を選んだ理由、農大卒業後の進路のことなど、たくさんのお話を聞くことができ、1日目の研修が終了しました。

2日目は農業大学校で閉所式を済ませた後農大から移動し、多品種の梨栽培を行っている花田さんと有機栽培を行っている数馬さんの圃場におじゃまさせていただいて、農家の視察研修を行いました。大ベテランのお二人からは、農業を仕事にするために、貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。「友達や人とのつながりが大切であること」「機械や圃場の整備等に補助金を活用するなどして、上手くお金のやりくりをする必要があること」「農業は一生学び研究し続けなければならない仕事だということ」「仕事を楽しむこと」「大変ではあるがやりがいがある仕事であり、使命感を持って仕事をされていること」を知りました。

参加生徒全員で集合写真



研修先で話を聞く生徒



2日間の研修を終え、就農したい気持ちがよりいっそう高まった生徒や、農業でも自分の考えていた方向とは別の道もあるのだと気づく生徒もいて、「農業後継者の集い」の目標を達成することができた研修になったのではないかと思います。また来年も開催しますので、今回参加できなかった生徒にも是非とも参加して欲しいと思います。